



最近の話題：ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスの
電子顕微鏡写真

昨年末から今年の年始めにかけて、広島県福山市内の特別養護老人ホームで42名の入所者が下痢・嘔吐等を発症し、うち7名が死亡し、一部からノロウイルスが検出されました。これ以降も全国各地でノロウイルスが原因の胃腸炎によって高齢の方が亡くなっていると報じられています。ノロウイルスというのは聞き慣れない言葉で、SARSのように新しい病原体が出現したのかと不安にかられた方も大勢いらっしゃったかと思われませんが、**実はノロウイルスは以前から冬場の胃腸炎の原因となっていたありふれたウイルスです。**今回はノロウイルスによる感染性胃腸炎に関して概説致します。ノロウイルスはそもそも1968年にアメリカで集団発生した急性胃腸炎の方の糞便中から発見されたものです。その後、ウイルスの詳しい性質が調べられ、このウイルスが胃腸炎を起こす大きな原因であることが判明し、2002年に「ノロウイルス」と命名されました。ウイルスによる感染が集団で起こると食中毒と呼ばれることになりますが、**ノロウイルスが原因で起こる食中毒は件数では年間第三位（100～250件）、患者数では第一位です。**元々それほど強い病原性があるという訳ではなく、感染しても多くの場合は一過性で軽症の下痢・嘔吐で終わります。今シーズンはたまたま、体力の弱い方が大勢いらっしゃる施設で集団発生したために、おそらくは脱水症状を起こして亡くなられる方があったのだと思われます。**普通に暮らしている方はあまり神経質に心配する必要はありません。**ノロウイルスの典型的な症状は下痢・嘔吐・腹痛で発熱は軽度です。通常1～2日で回復し後遺症もありません。年間を通してみられますが、1～2月がピークとなります。特別な治療法はありませんが、脱水がひどい場合には点滴を行います。**原因として最も多いのはカキを含む二枚貝の生食で、冬場に生ガキを食べることが多いので、冬にノロウイルスによるカキの食中毒が多いと考えられています。**予防はなかなか難しく、カキをよく洗ってもウイルスを除去することはできません。但し、加熱（85℃以上、1分間以上）によってウイルスの感染性はなくなると言われていますので、カキはやはり火を通した方が安全でしょう。

病気の知識：外科編：⑪ 閉塞性動脈硬化症

動脈硬化は高血圧や高コレステロール血症が原因で起こりますが、足の付け根の血管が動脈硬化の為に詰まってしまうと大変です。このような状態は閉塞性動脈硬化症と呼ばれます。**症状としてまず、数百メートル歩くと決まって下腿の裏側の筋肉が痛くなり、休まないと歩けなくなる「間歇性跛行」というものがでてきます。更に進行するとじっとしていても痛みが続く「安静時疼痛」と呼ばれる症状が出現します。**手術が必要になることもあり、注意が必要な病気です。診療や治療は通常、「血管外科」で行ないますが、普通の病院にはありません。閉塞性動脈硬化症が心配な方は御相談下さい。必要により血管外科を御紹介致します。

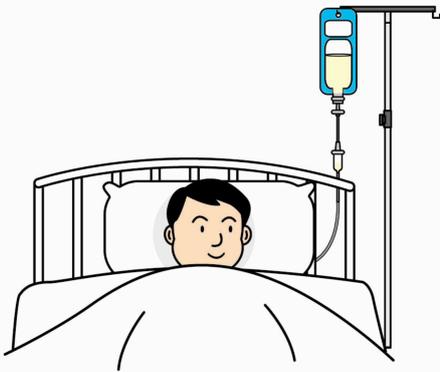
医院よりのお知らせ

①花粉症に御注意を！！（再掲載）

スギやヒノキの花粉が飛ぶ量（飛散量）は前年の夏の気温が高くて日射量が多いと増加します。昨シーズンは一昨年の冷夏の影響で飛散量は少なくてすみませんでした。しかし昨年あのひどい猛暑の為に今シーズンは大量に花粉が飛ぶと予測されています。花粉症はアレルギー体質が原因なので根本的な治療は体質改善しかなく、一朝一夕ではどうにもなりません。しかし抗アレルギー剤を服用すると症状は大分抑えることができます。特に毎年のように花粉症に悩まされている方は早目に抗アレルギー剤を服用するようにしましょう。花粉症のことは当院にお気軽に御相談下さい。



②まだまだインフルエンザに御注意を！！



今シーズンは例年より随分遅れてインフルエンザが流行いたしました。インフルエンザには主に比較的症状が強いA型と比較的弱いB型の2種類がありますが、今回は殆どがB型のようなので、ワクチンの効きが不十分なようで、ワクチン接種をされた方でもかかっている様子が伺えます。過去10年間インフルエンザの流行が終焉するのは4月になってからなので、しばらくは注意が必要です。もし急に熱がでた場合にはインフルエンザの可能性があるので、すぐに受診して下さい。その場でインフルエンザであるかどうか検査をし、すぐに治療を行えます。

③末成地区講演会

2月23日に末成小学校で「骨折を防いでいつまでも快適な生活を！」と題して講演を行いました。多数お越し頂きありがとうございました。少しでも皆様の健康管理の一助になればと願っております。他の地区でも御要望がございましたら出張講演に伺いますので、お気軽にお声をおかけ下さい。

薬の知識：⑧ 骨粗鬆症治療薬

高齢になると骨の量（骨密度）が減少すると共に、骨の構造が変化し、骨は脆く折れ易くなってきます。若い人に比べて骨密度が70%以下になると骨粗鬆症と診断されます。高齢化社会の為に骨粗鬆症の方は増加しており、全国で1000万人以上とも言われています。骨粗鬆で最も大切なことは転倒による骨折を防ぐことです。家の中の段差を無くしたり、つまづかないように整理整頓をしたり、外出時には杖を持つなどの工夫が大切です。またカルシウムやビタミンDの豊富な食べ物を積極的に摂って、適度な運動や日光浴を続けることも心掛けましょう。場合によっては薬による治療も必要です。当院ではカルシウム製剤のアスパラカルシウム、またカルシウムの吸収を高めるビタミンDのアルファスリー、骨の質を改善するビタミンKのグラケーなどを使用しています。ある程度以上の方に対しては骨の破壊を抑えるビスフォスホネート製剤のボナロンをおだししていますし、痛みに対しては注射薬のエルシトニンを用いることもあります。



最近の話題：タバコの害

タバコが体に悪いのは皆さんよく御承知のことと思います。しかしわかっちゃいるけどやめられないのが喫煙の困ったところです。今回は、タバコの害に関して、具体的に説明致します。そもそもタバコが何故体に悪いのかと言え、**タバコの煙にニコチンや一酸化炭素をはじめとして発ガン物質などの有害物質が含まれている**からで



す。喫煙によってこれらの有害物質が体に入ると様々な障害を引き起こします。このような障害は急性に起こるものと慢性に起こるものの2つに分けて考えることができます。急性の障害はタバコを吸ってすぐに起こるもので、咳や痰などの呼吸器の症状、血圧上昇や手足の冷感などの循環器の症状があげられます。**一方長年タバコを吸っていると体のあちこちの内臓が痛んできて慢性の障害が起こります。**肺では慢性気管支炎や肺気腫といった病気を引き起こし、頑固な咳や痰、呼吸困難などのせいで酸素療法が必要になることもあります。また心臓や血管に対しても非常に有害で、心筋梗塞や狭心症、あるいは血管が詰まる閉塞性動脈硬化症などの命にかかわる重病を引き起こします。**更に恐ろしいことにタバコは多くの癌の原因となっています。特に喉頭癌・肺癌・咽頭癌・食道癌などはタバコを吸う方は吸わない方の2倍程かかり易くなっています（男性の喉頭癌などはタバコによって30倍も増加します！）。**タバコによる害は吸っている本人のみならず周りで煙を吸ってしまう人にもおよびます。特に小さなお子さんや妊婦さんではタバコの害が強く出易いので注意が必要です。近年、タバコの害は益々強く糾弾されるようになってきました。タバコが吸える場所もどんどん少なくなってきています。世界各国でタバコの広告が規制されており、また広告やタバコの箱には警告文が記載されています。**日本では「喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなり、心筋梗塞・脳卒中の危険性や肺気腫を悪化させる危険性を高めます。～妊娠中の喫煙は、胎児の発育障害や早産の原因の一つとなります。」と書かれています。**こんなに危険なものを売るのは違法ではないのかとも思えるほどです。さあ皆さんはタバコを捨てますか、それとも命を捨てますか？

病気の知識：外科編：⑫ 肺癌

肺癌はタバコが原因となる代表的な癌です。右の図は直径1cm程の肺癌ですが、このような段階では症状は殆どありません。ある程度進行してはじめて、咳・胸痛や血痰などが現れるようになります。**タバコを多く吸う人ほど肺癌になり易く1日の本数×喫煙年数が600を越えると高危険群と言われます。**また毎日タバコを吸う人、若い時からタバコを吸っている人ほど肺癌になり易いようです。思い当たる方は何も症状がなくても、年に1度は胸のレントゲンで肺癌ができていないか調べた方がいいでしょう。

肺癌のCT写真



医院よりのお知らせ

①平成17年度宝塚市民検診実施中

4月1日より平成17年度の宝塚市民検診が始まりました。当院では血液検査・検尿・心電図などによる**基本検診**、胸のレントゲン写真による**肺癌検診**、検便による**大腸癌検診**、血液検査による**前立腺癌検診**を行っています。なお**乳癌検診**も施行しておりますが、当院では視触診のみとなっております。今年夏より宝塚市においてもレントゲンを用いた乳癌検診（マンモグラフィ検診）が開始される予定となっております。視触診検診を受診された方は、今年度はマンモグラフィ検診は受診できませんので御注意下さい。**市民検診は普段検査を受けていない方にとっては非常に役立つ検診で、宝塚市民の方は割安で受診できます。ぜひとも積極的に受診して頂き、病気の早期発見に御活用下さい。**



②個人情報保護法施行に関して

4月1日より個人情報保護法が施行されました。当院では法の精神に則り、患者様の個人情報に適切に管理・運用致します。右は当院の個人情報保護ポリシーをまとめたものです。窓口にも掲示しておりますので御不明な点等ございましたら、お気軽にお尋ね下さい。

当院は患者様の個人情報保護に全力で取り組んでいます

当院は、個人情報を下記の目的に利用し、その取り扱いには細心の注意を払っております。個人情報の取り扱いについてお気づきの点がございましたら、窓口までお気軽にお申し出下さい。 院長

当院における個人情報の利用目的

- 医療提供に関して
 - ◆当院での医療サービスの提供
 - ◆他の病院・診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護サービス事業者等との連携
 - ◆他の医療機関等からの照会への回答
 - ◆患者様の診療のため、外部の医師等に意見・助言を求める場合
 - ◆検体検査業務の委託、およびその他の業務委託等
 - ◆卸家等への病状説明
 - ◆その他、患者様への医療提供に関する利用
- 診療費請求のための事務に関して
 - ◆当院での医療、介護、労災保険・公費負担医療等に関する事務およびその委託
 - ◆審査支払機関へのレセプトの提出
 - ◆審査支払機関又は保険者からの照会への回答
 - ◆公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答
 - ◆その他、医療、介護、労災保険・公費負担医療等に関する診療費請求のための利用
- 当院の管理運営業務
 - ◆会計・経理
 - ◆医療事故等の報告
 - ◆患者様に対する医療サービスの向上（リコールのお知らせ・時々の挨拶等）
 - ◆その他、当院の管理運営業務に関する利用
- 企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等への結果の通知
- 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門団体・保険会社等への相談・届出等
- 医療サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 外部監査機関への情報提供

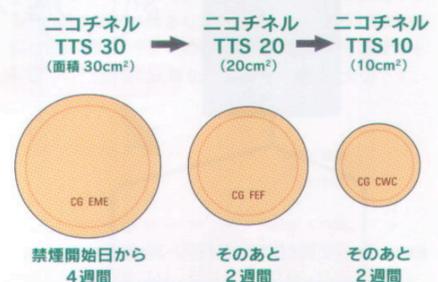
上記に対して御異議がおりる場合は窓口までお申し出下さい。お申し出がない場合は、御同意して頂いたものと致します。

③禁煙外来開始

タバコを吸われている方で、止めたくてもなかなか止められない方は大勢いらっしゃると思います。私（院長：合田潔）も禁煙に挑戦中ですが、最近下欄の「薬の知識」のように禁煙補助薬が使えますので、割合とスムーズに禁煙できるようになってきました。私も使っていますが効果があります。禁煙を考えている方はぜひ御相談下さい。

薬の知識：⑨ 禁煙補助薬

禁煙にチャレンジをされたことがある方ならよくお分かりでしょうが、禁煙は非常に苦しいものです。この大きな理由は長年喫煙を続けていると、体がタバコに含まれるニコチンに対して中毒状態となり、ニコチン無しでは禁断症状が出現してしまうからです。禁断症状は人によって様々ですが、頭痛・倦怠感・苛々感・眠気などがよく見られます。このような禁断症状は数日から2週間程続きますので、耐えきれずに禁煙に失敗することが殆どでした。しかし最近禁煙を達成するのに役立つ薬剤が出現しています。ガムや貼り薬（上図）などがありますが、どれもニコチンを含んだ物です。こういった禁煙用の補助薬を使うとニコチンの禁断症状が随分緩和されますので、禁煙の成功率が高まります。保険は効かないので自費となりますが、禁煙をお考えの方には大変有用です。





最近の話題：熱中症に御注意を！！

今年も暑い季節がやって来ました。私（院長：合田潔）は御覧の通りの超デブですので、この季節は大変に苦手です。昨年のような猛暑になりますと、汗がダラダラで目眩がしてきます。どうやら天気予報では今年も例年以上に暑いようで、今から思いやられます。さてこの季節に気を付けねばならない病気というと**熱中症**があげられます。



熱中症とは読んで字のごとく、「熱に中（あた）る」という意味で、体の中と外の「暑さ」によって引き起こされる、様々な体の不調のことです。気温が高かったり、激しい運動などで体内でたくさんの熱が発生することが原因で起こります。症状は軽い場合には手足やお腹の筋肉に痛みを伴う痙攣が起こる程度ですが、ひどくなると目眩・頭痛・嘔吐などが起こったり、極端な場合には意識障害を起こして死亡することもあります。最近では少なくなりましたが、以前は炎天下で車に子供を残してパチンコに入り浸るバカ親がよくいました。パチンコから帰ると車の中で子供が死んでいたというニュースがありました。これは車内の温度が上がって熱中症になってしまったからなのです。また数年前にはクーラーの普及が遅れているフランスで猛暑による熱中症で1万5000人の高齢の方が亡くなるということもあり、政治問題化していました。このように熱中症は命にかかわりますので、とにかく予防に努めて下さい。日本では熱中症は7月・8月の午後に多く発生しますが、**日射しが強く気温が高い時はできるだけ戸外の活動は控えるようにしましょう。戸外での活動は日射しが弱く気温が低い朝夕だけとし、更に帽子やパラソルを使って直射日光を避けましょう。また汗をかくと水分だけではなく塩分も失われますので、薄い塩水で補うようにして下さい。こまめに休息をとって無理をしないことが肝心です。**最近、日本気象協会が熱中症の予防情報をインターネット上で公開しています（<http://www.n-tenki.jp/HeatDisorder/>）。各地での熱中症の危険性を1週間先まで、ほぼ安全から嚴重警戒までランクづけしていますので、御参考にして下さい。

病気の知識：皮膚科編：① あせも

あせもは垢やほこりが汗腺に詰まって起こります。汗腺から汗がでるのですが、詰まってしまうと炎症が起こり、痒いブツブツができてきます。あせもは顔や首、腋の下などの汗をかき易い場所によくでき、大人より子供に多く見られます。あせもも放っておくと細菌が入って化膿してくることもあるのでばかにはできません。

あせもができたらとにかく体を清潔にしてこすらないようにして下さい。湯船に入るとかえって悪化することがあるのでシャワーだけにしておきましょう。ひどい場合には受診して頂いた方がいいでしょう。



医院よりのお知らせ

①平成17年度宝塚市民検診実施中

4月1日より平成17年度の宝塚市民検診が始まりました。当院では宝塚市より委託を受け、血液検査・検尿・心電図などによる**基本検診**、胸のレントゲン写真による**肺癌検診**、検便による**大腸癌検診**、血液検査による**前立腺癌検診**を行っています。なお**乳癌検診**も施行しておりますが、当院では視触診のみとなっております。**市民検診は普段検査を受けていない方にとっては非常に役立つ検診で、宝塚市民の方は割安で受診できます。ぜひとも積極的に受診して頂き、病気の早期発見に御活用下さい。**



②夏期休診のお知らせ

8月15日(月)・16日(火)の2日間、お盆休みとして例年通り休診させていただきます。御来院の患者様には御不便をおかけ致しますが、宜しく御容赦お願い申し上げます。

日	月	火	水	木	金	土
8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20
休	休	休	診療	診療	診療	診療

③乳癌マンモグラフィ検診に関して

宝塚市広報で御存知かと思いますが、今夏(7月1日)より市民検診の乳癌検診が変わります。従来は視触診といって、見て触れてという検診でしたが、レントゲン(マンモグラフィ)が行われるようになります。乳房のレントゲンは特殊な装置が必要ですので実施施設は限られますが、特に若い女性(40~50歳代)には有用です。



薬の知識：⑩ 輸液製剤

輸液とはいわゆる点滴のことですが、輸液には色々な種類の物があります。通常口から水分や栄養を摂取できないような場合、あるいは注射の薬を投与しなければならない場合などに輸液が行われます。熱中症で意識が朦朧としているような場合にはすぐに対処しなければ命にかかわることもあるので輸液の良い適応となります。しんどい時に点滴を受けると楽になったような気がしますが、食事をとれず休養ができていないような場合には点滴は有効です(十分食事をとって、十分休養をとっている方には点滴は必要ないとも言えますが)。**当院では電解質輸液のポタコールRを使用しています。この輸液製剤はナトリウム・カリウム・カルシウムなどと共にブドウ糖を含んだ物で、必要に応じてビタミン剤・鎮痛剤・制酸剤・制吐剤・鎮痙剤・肝疾患治療剤などの色々な薬剤を患者様の病状に合わせて追加して使用しています。**





最近の話題：アスベストによる健康障害

最近、アスベストによる健康障害が俄に注目されるようになっていっています。アスベストは天然に産する繊維状の鉱物で「石綿（せきめん／いしわた）」とも呼ばれています。熱や腐食に強く、また安価であったために建材などを中心に広く使用されてきました。しかしアスベストは実は健康にとって非常に有害なのです。このことは随分昔から知られており、1980年代には学校での吹き付けアスベストが社会問題となりました。今回、アスベストを使用していた工場の周辺の住民にアスベストが原因と思われる健康障害が生じたことより、これまでも増してアスベストが問題視されている次第です。それではアスベストはいったいどんな障害を引き起こすのでしょうか？アスベストは非常に細かい繊維であるため飛散し易く、吸い込むと肺の奥の方まで到達します。そして長い年月を経て、肺の病気（石綿肺・肺癌・悪性中皮腫）が生じてきます。石綿肺は肺が硬くなり呼吸が困難となってくる病気ですが、職業上アスベスト繊維を10年以上吸入した労働者に起こると言われており、潜伏期間は15～20年と考えられています。悪性中皮腫は肺を取り囲む胸膜、肝臓や胃などの臓器を囲む腹膜、心臓及び大血管の起始部を覆う心膜等にできる悪性の腫瘍です。潜伏期間は20～50年と言われています。どの位の量のアスベストをどのくらいの期間吸うと発病するのかに関してははっきりとは判っていません。またある程度進行するまではこれといった特徴的な症状は無く、検査法・予防法なども確立されていません。なかなか早期に対処するのは困難であるのが現状ですが、少なくとも以前にアスベストを扱っていた方、また家族にアスベストを扱っていた方がいらっしゃる方、アスベストを扱っていた工場等の近隣に住んでいた方などは、アスベストによる健康障害が存在することを忘れないようにしておいて下さい。何らかの呼吸器の症状（呼吸困難・血痰・胸痛等）があるようならすぐに医療機関を受診しましょう。必ずしもアスベストを吸った方全員が発病する訳ではないので恐れ過ぎる必要はありません。むしろ喫煙の方が肺の病気の危険性が高いとも言われていますが、油断は禁物です。



病気の知識：皮膚科編：② うおのめ（鶏眼）

うおのめは体重がかかる足の裏にできますが、皮膚が角化して硬くなった物です。小さな物から大きな物まで様々ですが、むしろ小さな物の方が痛みが強いようです。指の間にできることもあり、この場合は靴を履くのも痛くて難儀します。

うおのめは歩く時の体重のかかり具合が問題となるので一旦治ってもよく再発します。硬いだけの時は放っておいて、痛みがででしたら皮膚を軟らかくするスピール膏というシールを貼り、数日おいてから削ります。よく合った靴にすることも大切ですが、とにかく気長に付き合しましょう。



医院よりのお知らせ

①インフルエンザワクチン

まだまだ残暑の厳しい毎日とはいえ、一時期に比べると随分と朝夕が過ごし易くなってきました。さて、当院では今年も例年どおりインフルエンザワクチンの接種を行います。昨シーズンはB型インフルエンザという比較的希なタイプのインフルエンザが大流行しましたが、ワクチン接種をされていた方はたとえ罹っても重症化することはなかったようです。今シーズンも政府は十分な量のワクチンを用意しているようですが、**時期が遅くなると不足するのではないかと**危惧されます。特に65歳以上の方、また何か持病のある方はインフルエンザに罹ると重症化しかねませんので、早めに受けるようにしましょう。10月中旬より接種開始予定です。



<インフルエンザワクチン接種料金>

	お一人	お二人以上
65歳以上	1000円/人	1000円/人
13歳以上65歳未満	4000円/人	3000円/人
13歳未満	3000円/人	2000円/人

左表は宝塚市民の方の場合です。60歳以上で特定の疾患のある方（身体障害1級等）は1000円で接種可能な場合がありますので受付にお尋ね下さい。

②健康づくり講座

市の広報で御覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、宝塚市では毎年秋に健康づくり講座を開催しております。今年は9月14日より全10回にわたって開催されます。私（院長：合田潔）は9月21日の「前立腺の病気」と9月28日の「乳腺の病気」で司会及び相談医師として出務予定です。宝塚市医師会では兵庫県や宝塚市と共に、夏には健康大学講座を、また秋には健康づくり講座を開催し、市民の皆様の健康管理をサポートしております。御活用頂ければ幸いです。

薬の知識：⑪ インフルエンザ関連薬剤

インフルエンザに関連した薬剤としては、まず予防の為にワクチンがあげられます。ワクチンはインフルエンザが流行する随分前に流行するであろうタイプを予測して製造されますので、予測が外れてあまり効かない場合もありますが、一般的にはワクチンによってインフルエンザや肺炎による高齢者の入院は30～70%減少すると言われております。また治療薬としては抗インフルエンザウイルス薬が用いられています。この薬剤はインフルエンザに罹ってから48時間以内に使用すると大きな効果があり、早く治り、また重症化しにくくなります。昨シーズンからは保険は効きませんが予防の為に使用できるようになっています。また診断の為に薬剤も開発され、受診したその場でインフルエンザかどうか判るようになっています。**まずはワクチン接種で予防に努め、それでも罹ったかなという場合には早目に受診し、診断薬で確認して、インフルエンザの場合には抗インフルエンザウイルス薬を服用するというのが標準的な対処法です。**



最近の話題：医療制度改革

10月19日、厚生労働省より医療制度改革の為の試案が発表されました。従来、日本では国民皆保険制度によって、誰でも容易に医療を受けることができました。この制度のお陰で日本人の平均寿命は世界一となり、比較的少ない金額で健康が保たれていると諸外国より賞賛されてきました。ちなみに外国では日本のように簡単に医療を受けることはできませんし、お金の有る無しによっても受けられる医療に違いがあります。このように優れた制度ではありますが、少子高齢化社会の到来を控え、問題点がでてきました。年をとると何かしら身体の具合は悪くなりがちなので医療費も高む様になってきます。これから日本では高齢者が増加していきますので必然的に医療費も増加しますが、一方働き手は減っていくので医療費にあまりお金を廻せなくなっていくと思います。そこで医療費を抑制する為に医療制度を変えていく必要があるという訳です。今回の厚生労働省の試案では短期的な医療費抑制策と中長期的な医療費抑制策を組み合わせるという方向が示されました。短期的な抑制策としては、①窓口負担の増加（高齢者の負担を1割から2割へ、現役並みの所得があれば3割に上げる）、②入院時の給付抑制（食費・住居費は保険適応外とする）、③医療機関への診療報酬の削減、④保険免責制度の導入（一回の受診毎に一定の金額までは保険が効かないようにする）などが考えられています。また中長期的には生活習慣病（高血圧・糖尿病・高脂血症等）を減らして脳や心臓などの大きな病気に罹りにくくする、つまり日本人を健康にしていこうという健康増進計画が考えられています。このような給付の削減と共に、他方では医療費をはじめとする社会保障費を確保するために消費税の増税も自民党を中心に検討されています（おそらく消費税は近い将来には10～15%になると思われます）。もちろん全て確定したことではなくこれからの検討課題なのですが、先の衆議院選挙での圧勝を受けて小泉首相は国民に相当の痛みを強いる改革を実行しようとしています。改革は必要ですが、痛みが大き過ぎて耐えきれないような改革で本当にいいのでしょうか？ここは私達一人一人がじっくり考える必要があるかと思えます。



病気の知識：皮膚科編：③ 粉瘤

粉瘤は皮膚にできる腫瘍で最もよく見られるものです（右の写真は右頸部）。身体の様々な場所にでき、普通は痛みも痒みもありません。下の図のように袋状になっていて、おからのような中身が詰まっています。しばしば細菌による感染の為に、赤く腫れて、痛みがでてきます。こうなると切開して中身を出さねばならなくなりますが、袋が残ってしまうのでよく再発します。痛みが無い間なら袋ごときれいに取れますので、気になる方は御相談下さい。



こうなると切開して中身を出さねばならなくなりますが、袋が残ってしまうのでよく再発します。痛みが無い間なら袋ごときれいに取れますので、気になる方は御相談下さい。

医院よりのお知らせ

①インフルエンザワクチン

10月15日よりインフルエンザワクチンの接種を開始しました。昨シーズンはB型インフルエンザという比較的稀なタイプのインフルエンザが大流行しましたが、ワクチン接種をされていた方はたとえ罹っても重症化することはなかったようです。今シーズンも政府は十分な量のワクチンを用意しているようですが、**時期が遅くなる**

と不足するのではないかと危惧されます。特に65歳以上の方、また何か持病のある方はインフルエンザに罹ると重症化しかねませんので、早めに受けるようにしましょう。**ワクチン接種後、効果が現れるまで1ヶ月程かかります。インフルエンザは年末頃より流行しますので、遅くとも12月の初旬までには接種を済ませるようにして下さい。**



<インフルエンザワクチン接種料金>

	お一人	お二人以上
65歳以上	1000円/人	1000円/人
13歳以上65歳未満	4000円/人	3000円/人
13歳未満	3000円/人	2000円/人

左表は宝塚市民の方の場合です。60歳以上で特定の疾患のある方（身体障害1級等）は1000円で接種可能な場合がありますので受付にお尋ね下さい。

②看護師さん募集！！

パートの看護師さんを募集しています。子育てなどでブランクのあった方も歓迎致します。働き易い職場です。まずは御連絡下さい。



③合田外科新聞創刊30号！！

今号で合田外科新聞も創刊30号となりました。私（院長：合田潔）も本年末で、はや開業5年となります。これからも患者様のお役にたてる様がんばりますので、合田外科新聞共々どうか宜しくお願い致します。

薬の知識：⑫ 漢方薬

明治時代まで日本の医学は殆どが漢方医学でしたが、明治維新後の西洋医学導入によって漢方医学は急速に廃れました。しかし最近では西洋医学とはまた異なった医療として漢方医学が見直されてきています。漢方医学は西洋医学の様に一つの病気を細かく分析していく訳ではなく、「証」という独特の考えに従って治療をしていきます。なかなか西洋医学とは相容れにくいものですが、比較的取り入れ易いものもあり、当院では次のような漢方薬を使用しています。**葛根湯**：初期の風邪に効果有り。**小柴胡湯**：慢性肝炎に効果あり。**桂枝加朮附湯**：関節痛に効果あり。**小青竜湯**：花粉症などのアレルギーに効果あり。**加味逍遙散**：更年期障害の諸症状に効果有り。**補中益気湯**：特に老人の体力回復に効果有り。**防風通聖散**：便秘に効果有り。ダイエットにも有効。**芍薬甘草湯**：こむら返りに効果有り。**大建中湯**：お腹の張り（特に手術後）に効果あり。漢方薬を試してみたい方はお気軽に御相談下さい。